

第6回 ユタ、ノロが活躍するマンガ

沖縄のユタ、ノロは、不思議、神秘的なものをマンガの世界に持ち込むのに最適なもののようで、数々の作品に取り入れられて大活躍しています。

今回は、その存在が主役級の扱いになっている作品を中心に紹介していきたいと思います。



「マブイノコトワリ」全2巻(原作/高円寺雅彦 漫画/森ゆきなつ ワニブックス刊)

解決困難な様々な怪事件を担当する警視庁・特殊捜査班。そこへ新たに女性捜査員・天御宮祭が配属された。彼女は沖縄のユタの能力を持っていて……。

第2巻で悪神が登場して、マブイノコトワリによって浄化されていくのだが、完結するのが早い気がします。個人的にはもっと続けて欲しかった。



「シネマの帝国」全4巻(明石路代/著 小学館刊)

沖縄のユタの瞳を持つ玉城花王莉は、日本映画界を支配する北斗シネマの北斗家で使用人として働いている。

北斗シネマの後継者争いで対立する兄弟の間でゆれる彼女は……。

2002年にプチフラワーコミックスから刊行された、知られざる少女漫画です。



「バガージマヌパナス ～わたしの島の物語～」 (栗原まもる 原作/池上永一 講談社刊)

とある沖縄の小さな島で仕事につくこともなく、毎日気ままな生活をおくる少女綾乃。そんな彼女に神様の「ユタになれ……」というお告げが。必死の抵抗もむなしく？ 彼女はユタへの道を歩むのだった……。

日本ファンタジー大賞受賞作の漫画化。



**「風車祭（カジマヤー）」全5巻(漫画/栗原まもる
原作/池上永一 講談社刊)**

おばあの陰謀により、妖怪火を目撃した高校生の比嘉武志は、マブイを落としてしまう。

妖怪火の正体は、228年もの間マブイだけの身となって島を彷徨う娘・ピシャーマだった。

武志は、娘に魅かれ、何とかしようとするのだが……。沖縄舞台の傑作怪奇もの。お勧めです。



**「美童物語（みやらびものがたり）2」（比嘉
憑/著 講談社刊)**

霊の姿が見える玉栄。ユタになることを夢見る兼箇。戦時中のため、二人は厳しい監視と指導下におかれるが、砂辺というユタと出会って、ユタについて理解を深めるようになる……。



**「永久保交幽録 沖縄編」（永久保貴一/著
ぶんか社刊)**

琉球ユタ・はるが同行しての沖縄の聖地巡り。若返りの水の金武大川、観音寺、「火ヌ神」の拝み方など不思議話がいっぱい。



**「永久保交幽録 琉球ユタ・はる」（永久保貴
一/著 ぶんか社刊)**

琉球ユタ・はるの生い立ちや対応事例の紹介が中心。

霊とか、スピリチュアルな話なので、具体的な事例内容は省略。



「永久保交幽録 沖繩聖地編」(永久保貴一/著 ぶんか社刊)

琉球ユタ・はるが同行しての沖縄の聖地巡り。沖縄の聖地として、玉陵、園比屋武御嶽、首里城正殿、アマミチューの墓、斎場御嶽、勝連城、沖宮、三天御座が紹介されている、



「カミノシマ ～なつちゃんのマイフェイバリッツ③～」(浜口奈津子/著 小学館刊)

沖縄で育ち、両親の死後、島を出て東京の叔父夫婦に引き取られた啓吾と真鶴の兄妹。

しかし、17歳になった真鶴には夜な夜な不思議なお告げが……。

マブイを落とした人間はどうなるのか?人から離れたマブイは……?



「眠る島」(浜口奈津子/著 小学館刊)

父と母が、互いに車を衝突させて事故死。

父の車に同乗していた尋子は、兄に助けられたものの、周囲の誰も兄の存在を認めない。事故の記憶をたどる尋子は、兄の存在を証明するため、沖縄のある島へ向かう……。



「ユタが愛した探偵」(「内田康夫 浅見光彦ミステリー&旅情サスペンス 8」(原作/内田康夫 作画/鳥羽笙子 秋田書店刊)・収録)

スキャンダル雑誌の編集長が沖縄で変死体となつて発見された。

名探偵浅見は、その事件の真相究明のため、沖縄へ飛ぶ。事件の鍵は、ユタにある?

推理小説の漫画化作品です。



「はいさい新聞文化生活部 ①」(ひらまつおさむ/著 原作/高津太郎 芳文社刊)

「第7話 ユタの予言？」

主人公を訪ねてきた大学の同窓生とともに、ユタの取材に行く途中、告げられた見立てとは……。

ユタが告げる言葉は、心の癒しにつながる？



「がんばれドッジファイターズ」第8巻、第9巻(原作/村上としや まんが/斉藤むねお 小学館刊)

全国大会決勝トーナメントに進出した主人公たちドッジファイターズの初戦の相手は、沖縄県代表・クイーン・ユタチーム。

そのチームの監督は、なんとユタのおばあちゃん。キャプテン比嘉藍得意のキジムナーアタックとは？



「南国ユタガール」全3巻 (餅西 うまし/著 小学館刊)

沖縄に引っ越してきた佐藤 凧は、高校生でユタをしている新垣黒子と出会い、落としたマブヤーを探すことになる。

2巻からは、二人の背後で復讐のためうごめくキジムナーの存在が明らかとなって……。



「ボクとおば〜のフシギな話」(漫画/杉作 原作/ヤースー リイド社刊)

沖縄県うるま市出身の霊視芸人・ヤースーの体験談の漫画化作品。

ヤースーのおば〜は、沖縄の霊能者・ユタ。

そのためか、孫のヤースーも霊が見える体質で、幼少期の不思議体験がオムニバス形式で綴られていく。



なお、2024年7月に第2巻が刊行されているので、興味を持った方は本屋さんで探してみてください。



「マブイ」(比嘉憑/著 青林工藝舎刊)

墓の中から厨子甕を盗んで売る男。しかし、得た金は次々と遊行費に消えていく。そんな男にユタはその罪深さを諭すが……。

1970年前後にあった墓あらしのニュースを題材にしたものらしい。

表題作以外に6本の短編が含まれている。



「髪を切りに来ました 第2巻」(高橋しん/著 白泉社刊)

沖縄の離島・ハルタ島にやってきた父子の日常生活を描く漫画。

第2巻では、島にノロとなるため帰ってきた少女が登場する。モデルは久高島ということか？ ただし、癒し漫画なので、特にその少女が活躍することはない。設定だけかな？



「琉球のユウナ」全8巻(響ワタル/著 白泉社刊)

こちらは、ユタよりも上に立つ、ノロを取り上げた少女コミック。

山原で、化け物(マジムン)と話す力を持つて一人生活している少女・ユウナ。

ある日、琉球国王・尚真王と出会ったことから、第一尚氏と第二尚氏の政権争いの渦中に巻

き込まれていく。

2022年9月刊行の第8巻で完結しました。



「なんくるなんない！」1巻～(野原多央/著 小学館刊)

2023年12月に刊行された作品。

レンジャーの資格を持つ自衛隊員・比嘉雷吉と暮らす一人娘・ハルコは、生理が来た日にサイキック(超能力)に目覚める……。

SF作品に分類されると思いますが、その同級生にノロの家系に生まれ、幻視能力を持つ少女等が登場します。

始まったばかりなので、今後の展開が楽しみな作品。ぜひ応援していきたい。

なお、2024年7月に第2巻が刊行されているが、内容は今回のテーマから離れた。

実在するユタの活躍については、ユーチューブなどでいろいろと動画で紹介されていることもあって、かなり注目を集めているようです。(ただし、それらの信憑性については、コメントできません。自身の体験もありますが、これは……口外できません)

また、ユタは奇怪な出来事の解決などにも関わることが多く、第2回「怪奇漫画」で紹介した作品の中にもちょくちょく出てくる存在でもあります。

ということで、今回の紹介は、この程度といたします。興味深い作品があれば、本屋や古本屋で探してみてください。

担当/量産工房

以下は、第2号「怪奇漫画」で紹介済です。



